



さいたま市議会議員（1期目）
市民の目線、初心を忘れずに！

佐伯かずみ NO.55



佐伯かずみは、性別・年齢・障害・国籍に関わらず誰もが参画できる
元気なチームさいたま市を目指します。

5月1日は
さいたま
市民の日

5月1日(月)は平日ですが、さいたま市の学校は休校になります。

2021年さいたま市誕生20周年を期に5月1日を市民の日と制定。市内小中学校 168校が休校になります。盆栽美術館、宇宙劇場、浦和美術館、岩槻人形会館、三橋総合公園、見沼ヘルシーランド、岩槻温水プールなど13カ所が無料になります。

「まちパト」が始まります(4/3～)

～道路などの損傷をスマホで通報～

前号 NO.54 号でお知らせしました、「まちパト」が4月3日より始動します。24時間365日、即時に道路の損傷などの通報ができますので、市役所や区役所がいている時間を気にせず連絡できます。(4月3日以降に「さいたま市まちパト」で検索を)

【対象箇所】

- ◎補装のくぼみ、へこみ、穴うめ
- ◎縁石やカーブミラー、ガードレールの損傷
- ◎街路樹の枝折れ
- ◎道路照明が切れている
- ◎公園の遊具やベンチの損傷など

【通報の流れ】

専用ページから位置情報の入力→通報内容と写真を登録→連絡先の入力(任意)

【今まで通りお電話で通報される方は】

各区のくらし応援室へ (大宮区ですと、048-646-3028)
月曜～金曜 8時30分～17時15分

佐伯かずみこの4年間の議員生活を振り返って感じたこと・・・

1 議員の仕事は「みなさんの声を聞くこと」！と痛感しました！

当選以来ずっと続けている朝の「駅頭」、毎月の「佐伯カフェなんでもおしゃべり会」、防犯を兼ね自転車で地域を回る「自転車お困りごと相談」、公式 LINE で、私はみなさんのお困りごとをお聞きしています。みなさんの声の中にこそ、社会の課題が隠れているとこの4年間で痛感しています。そして、それを解決するために動き、調査し、施策として反映していく。カタチとなったときはみなさんと喜びが共有できます。またそのすべてが、私の学びになり、ありがたく感じています。

2 やはり女性の視点や生活者の視点が政治には必要です！

まちには女性も男性も半々います。ともすると道路や建物の整備などハードな面を取り上げがちですが、暮らしや生活面などのソフト面に視点を置いた施策は、普段からまちで生活している者（女性や当事者）が得意とすることでもあります。さいたま市の女性比率は20%。もっと増やしていきたいです。そして女性のみならず、多様な視点や若者の視点も必要です。



3 他の議員との連携も大切！

自分一人ではなかなかできないことも多くあります。同じ会派の議員と、また他会派の議員とも協力して進めることが重要だと感じました。大宮区の議員5人で区役所に要望書を出している一つに、巡回バスがあります。これはバス便が少なくなった、足腰が悪くなって歩きづらい、などの声を受けて昨年入れ込みました。また女性議員の集まりでは、みんなで提案した意見書を、議会として国に出すことができました。



当選以来続けている朝の駅頭は400回



同じ立憲民主党の
傳田ひろみさいたま市議会議員と。
20年の議員生活に終止符を打たれ、今期で勇退されます。車いすの議員として初当選してから議場にスロープがついたのはなんと10年後だったそうです。当事者の声が伝わる社会に！

みなさまのモヤモヤやお困りごとをお聞きかせください。
右下の2次元コードから LINE でご連絡くださいね。
市の情報や、佐伯かずみの情報も流しています。

個人の課題は社会の課題です。みんなで一緒に住みやすく、暮らしやすく子育てしやすい街にしていきたいと思います！

